

周作クラブ会報

(第49号)
2012年11月22日発行

周作クラブ

◆主な記事◆

総会関連報告	1・4・5面
「周作忌」報告	2・3面
「長崎文学館便り」	7面
「遠藤周作学全国大会」	10・11面
軽井沢高原文庫・北杜夫12面	

報告—第12回定時総会

周作クラブ、ほぼ順調に12年

来年は遠藤周作生誕90年

2012年9月29日(土)午後4時から、東京・神田一ツ橋の如水会館で「周作クラブ」第12回定時総会が行なわれた。出席者26名、委任状225名(会員総数は453名)で総会は成立し、予定されたすべての議案を審議、承認し、午後5時10分に滞りなく終了した。

今年の総会は加賀乙彦会長が所用で欠席のため、高橋千劔破幹事の開会宣言で定刻に開始された。

まず宮辺尚幹事から現在の会員数について、この一年間における入会者は29名、退会者は42名(うち、2010年度分会費未納者22名、退会申し出20名)で、トータルは13名の減少となり、9月1日現在の会員数は453名であることが報告された。

続いて幹事会からの推薦で岡田厚美さんが議長として選出され、議事進行に入った。

●第1号議案—前年度事業報告

(高橋千劔破幹事)

前年度の収入は、前々年度からの繰越金を含めて2,786,766円で、支出は1,491,336円、従って今年度への繰越金は1,295,430円となること、さらにその内訳が報告されたのち、会計監査の光武喜代人さん

昨年9月29日の「周作クラブ」総会から本年8月までの全事業(9月の周作忌、1月の新年会、4月下旬の文学セミナー、5月19〜21日の長崎・大分への「遠藤文学・原点の旅」のほか、年4回の会報発行など)が報告された。

●第2号議案—前年度会計報告

(宮辺尚幹事)

から監査報告があり、拍手で承認された。(5ページ参照)

●第3号議案—役員・委員の改選

(加藤宗哉幹事)

今期は役員改選の年にあたり、会報委員から2名が退く(後藤徹哉、矢内一正さん)以外は昨年通りとする改選案—その役員・委員の氏名が読み上げられ、拍手で承認された。(4ページ参照)

●第4号議案—今年度事業計画

(高橋千劔破幹事)

来年が遠藤周作生誕90年となるため、誕生日(3月27日)に近い3月23日(土)に東京・四谷の聖イグナチオ教会の主聖堂で講演(黒井千次顧問)と合唱が、そしてその前夜祭的なイベントとして長崎市内での石坂浩二さんの『侍』朗読会(今年12月11日)などが計画されている。従って、毎年5月の「遠藤文学・原点の旅」は、今回は「旅」ではなく、加賀乙彦会長ときたやま・おさむ(北山修)さんとの対談となることなどが発表された。(4ページ参照)

●第5号議案—今年度予算

(宮辺尚幹事)

収入見込2,795,405円、支出見込1,512,800円、予備費1,282,605円の内訳が説明され、拍手で承認された。

以上で議案はすべて終了した。続いて、やむなく欠席となった関西支部横井勲世話人の活動報告が読み上げられ、予定の行事はすべて終わったが、最後に、一昨年の総会で決定した「会員名簿の発行は3年に一度」という件について意見の交換があり、結果、先の決定通りに3年ごとに名簿を作成することで全員が了承し、第12回総会は閉会した。

(記)加藤宗哉
(写真)田村百(台子)

